

女性向けにイチゴ

千代菊と奥田農園 リニューアル



日本酒仕込みの「苺のお酒」をアピールする田中社長(右)と奥田社長(左)

「ムも女性目線で参画し、イチゴ果汁を50%ほどブレンドして、「イチゴ本来の甘さと香り豊かなリキュールに仕上げた」(奥田社長)という。コラボ商品「苺のお酒」(500ミリ入り)は、一本

現場カイゼン力強化へ

岐阜産振センター 担当リーダー講座



カイゼンの基本を学ぶ参加者

【各務原】岐阜県産業経済振興センターはこのほど、各務原市のGPSトレーニングセンターで「モノづくりに現場カイゼン力強化研修会(発展講座)」を開催した。中小企業12社の15人が参加した。製造現場における作業工程の見直し活動「カイゼン」を、実習形式で学ぶことで、現場のカイゼン担当リーダーを育てることを目的とした講座。計6日間の日程で行われる。初日は、座学として「徹底的なムダ排除による原価低

減の進め方」(TPS)(トヨタ生産方式)の基本的な
日本公庫 新規就農
【岐阜】日本政策金融庫岐阜支店はこのほど、津市の岐阜県就農支援センターで新規就農者らと「意見交換会」を開催し、同公庫の青年等就農資金利用者、今後就農を予定している研修生、関係行政の担当者も参加した。意見交換会では、新規就農者から現在の経営状況、就農前後の準備や苦労、後の抱負などが発表さ

伝統と革新

三重のものづくり

11

高洋電機は銑前部品や自動車部品などを切削加工している。銑前部品が売り上げの4割、自動車部品が2割を占める。

切削加工にも参入。業容を拡大した。転機となったのは、90年代

「30倍の精度が求められた。月産50万個を量産するために品質の平準化にも取り組んだ。同時に、事務用機器の部品加工を受注。初めて高硬度材「SUJ2」をNC旋盤で削

難削材加工の技術で 幅広い産業分野参入

高洋電機

創業は1951年。高祖雅規社長の祖父・亀太郎氏が、工作機械などに使う産業用モーター

前半に開始したハードディスク用軸受け部品の切削加工の大量受注だ。切削の加工精度は、2・5ミ以下の公差(許容される誤差の最大寸法と最小寸法との差)に抑える厳しい条件。銑前部品に比べ、20

新規顧客が売上高の45%占める



映写機の電極に使う「タンタム」

納期短縮につなげることもできる。2008年の米リーマンショックの影響で、09年12月期売上高が大幅に落ち込んだ時も、その強みを生かして、光学メーカーから映写機の電極に使うタンタムステンなどの切削加工を新規で受注できた。営業を強化して自動車、建

<会社概要> 本社は三重県玉城町中楽639の1。代表電話は0596・58・2121。1951年創業。17年12月期の売上高は15億円を予想。従業員数は120人(17年1月24日現在)。



高祖雅規社長



●三重支社
津市栄町4の255
津栄町三交ビル 3階
電話 059(228)2545
FAX 059(271)6311

●四日市支局
四日市市中浜田町4の16
ロイヤルマンションHAMADA 208号
電話 059(354)6116
FAX 059(329)5333

県当初予算案 5年ぶり減少

三重県は13日、一般会計を7011億円とする2017年度当初予算案を発表した。16年度当初比4・8%減で、5年ぶりに減少した。昨年(伊勢志摩サミット)で